

・以下の集計値／グラフは、4月18日に実施した調査の結果を集計した値である。

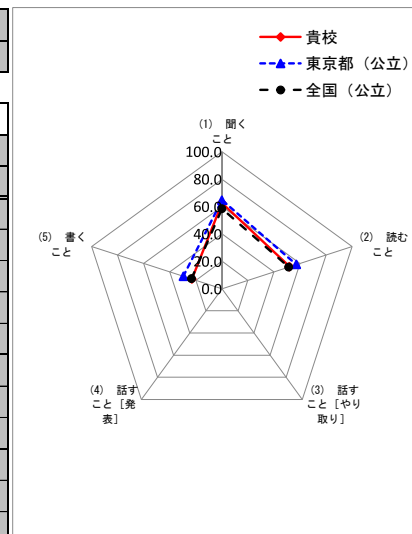
※ただし、4月18日に調査を実施していない学校については、4月19日以降4月28日までに実施した調査の結果を集計した値とする。

集計結果

対象生徒数		江戸川区立小岩第四中学校	東京都（公立）	全国（公立）
		107	71,486	893,528

分類	区分	対象問題数 (問)	平均正答率(%)		
			貴校	東京都（公立）	全国（公立）
全体		17	47	52	45.6
学習指導要領の領域	(1) 聞くこと	6	62.5	64.7	58.4
	(2) 読むこと	6	52.0	57.2	51.2
	(3) 話すこと [やり取り]	0			
	(4) 話すこと [発表]	0			
	(5) 書くこと	5	23.0	29.6	23.4
評価の観点	知識・技能	9	51.5	57.9	51.5
	思考・判断・表現	8	42.3	44.8	38.8
	主体的に学習に取り組む態度	0			
問題形式	選択式	12	57.2	61.0	54.8
	短答式	3	29.3	37.6	30.1
	記述式	2	13.6	17.6	13.5

＜学習指導要領の領域の平均正答率の状況＞



結果分析・課題

聞くことに関する力は、全国平均を大きく上回っているが、問題によっては情報を間違えて聞き取っている場合があり、より正確に聞き取る力を育てる必要がある。

読むことに関する力は、全国平均を上回っているものの都平均を下回っており、情報を正確に読み取る力や文章の要点を読み取る力に課題がある。

書くことに関する力も都平均を下回っており、状況に応じた表現や、まとまりのある文章を書く力などに課題がある。

知識・技能の観点では、聞き取る力はあるが、情報や要点を読み取る力が不足し、未来のことや依頼する文を書く力、まとまりのある文章を書く力に課題がある。

思考・判断・表現の観点では、全国平均を大きく上回っているが、読解力や書く力を伸ばすことが課題である。

問題形式では、選択式の問題は得意だが、記述式の問題に弱く、書く力を伸ばす必要がある。

授業改善のポイント

読解力の不足に関しては、使用している教科書にQ&A等の問題の提示が非常に少なく、訳読式の授業をしてこなかったことも影響していると思われる。日々の授業に、試験の際に求められるような問題の出題を増やし、長い文章を正確かつ迅速に読み取ることに慣れる工夫をする。

書く力を伸ばすためには、既習のどの文型を使用すれば表現できるのか、状況に応じて正確に使用できるように練習する機会を増やす。また、まとまりのある文章を書く機会を増やし、論理的で英語的な思考の仕方の習得を促す。

聞く力に関しては、キーワードをメモする習慣がつくように出題を工夫し、より問題の難易度を上げる。